

第5学年 総合的な学習の時間指導案

平成18年2月14日 5限(5年生教室)

指導者 小松市立能美小学校

廣田 恵子

1 題材名 著作物(音楽)について考えよう

2 題材の目標

(情報を活用する力)・・・能美っ子につけたい力

- ・ 情報の質を確かめるために、創作物には著作権という権利があることを知る。
- ・ 情報の出所を明らかにする引用があることを理解する。

(自己の生き方を考える)・・・能美っ子につけたい力

- ・ 自分達の生活の中で著作権法上気をつけなければならない事があることに気づき、自分が生活するうえでの情報判断する視点を身につける。

3 指導にあたって

児童について

社会科では情報の質を確かめることを調べ学習に生かし、国語科では多角的に考えを持ち、表現することを学習している。総合的な学習の時間では各教科を関連させ、情報の質を確かめながら、多角的な視点で表現していく活動を取り入れている。子どもたちは、社会科や総合的な学習の時間には、情報カードを使い、情報の出所を明記し、意識するようになってきた。引用するときもどこからの情報か、誰からの情報かを明記させたり、意識することで人の情報を勝手に操作したり、無断で利用してはいけないことを学習している。子どもは、著作権という言葉は日常の学習の中で使っているのを知っている。しかし、どんなものに適用されるかは一部分しか知らない。子どもが好きな漫画やキャラクター、友達の作品にも適用されることはわかっている。自分で楽しんで描いたりしている分には問題がないことも知っている。けれど、どこまでが著作権の侵害になるのか、どうしてしてはいけないかなどの判断基準は明確ではない。

題材について

昨今では、Webに関わる犯罪やトラブルが子どもの世界とも無縁ではなくなっている。そのため、情報モラルの学習の必要性は年々高くなっていると言える。その中の「著作権」も日ごろより耳慣れた言葉ではあるが、どのようなものに適用されているかは子ども達にとっても教師にとってもはっきりとした判断がつきにくい。生活の中でも著作権に関わることで知らないことがたくさんある。特に音楽では、著作物という意識はうすいと思われる。今までの学習をふまえ、創作者への相手意識を持たせることで、特別なことではなく自分がされていやなこと、相手の創作物への配慮が著作権の根底に流れていることに気づかせ、創作物の保護、思いやりが規範意識につながると考えてい

る。

指導について

本時では、身近なもののひとつに音楽を取り上げたいと考えている。現在では、簡単にCDをコピーしてもらったり、コピーしてあげたりすることが可能である。子ども達は、お互いに好きなアーティストの話をしたり、曲を聞いたり、お昼の放送にもリクエストしたりもしている。そこで、音楽を作っているアーティストの違法コピーに対するメッセージを知ること、音楽を作る人の気持ちに迫り、自分したいことと、創作者の気持ちの違いがあることに気づかせたい。これからの生活に著作権を意識し、自分の行動をするときの判断基準として「相手はどう思うか」「これはしてもいいことだろうか」と立ち止まって心にブレーキをかける意識を持たせることが重要なのではないかと考えている。

他教科との関連

これまで学習で必要とされる資料やWebからの引用、著作権の対象物について学習し、考えてきた。国語科『調べた事を整理して書こう・・・言葉の研究レポート』では、レポートの構成や、参考にした資料や本の出典を明らかにし、明記する事を学習している。社会科の学習でも、情報カードを使って、情報の出所を常に意識させ、明らかにするよう指導してきた。引用や参考にすることで自分の考えのように書いてしまっは困るからである。参考や引用したものの区別をつけることで、情報の出所をはっきりさせ、そのうえで自分の考えを書くことが重要であると考えている。Webや資料からの情報は、他の人からの情報であることの意識を持たせるようにしてきた。出所を明らかにせず、ある資料を引用してしまった事件の新聞記事から、著作権法があることを知り、引用にも著作権があることも学習してきた。学習面では、著作権に関わるが多かったが、音楽に関しては、子どもの生活と深くかかわりがある。創作物は、音楽も絵も資料も同じであることの認識を繰り返し年間を通して、意識付けていくことが、大切だと考えている。

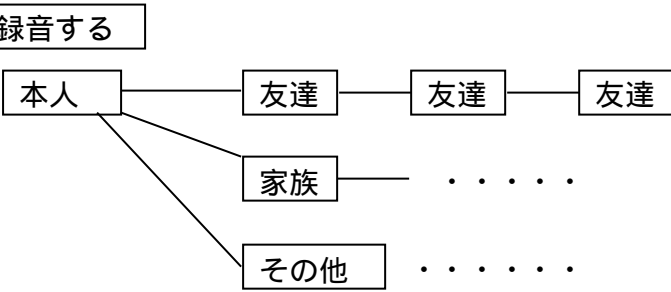
4 指導計画 (全3時間)・・・本時は3/3時間

時数	学習活動	支援○・評価
著作権法って？ (一時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や総合的な学習の時間のまとめで引用してきた Web 情報や資料について、どこから収集したのかを話し合う。 ・写真やグラフ・表などの引用、文章の引用、又は文章を自分でまとめたり、自分の考えを加えたものかを判断させ、引用したのか、参考にしたかを考える。 ・著作権法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○出所を知ること、情報の確かさ、信憑性が増すことを既習から想起させる。 自分のまとめで使用した情報が引用か参考かの区別をつけることができる。(観察・発言) ○新聞の記事から、引用の出所をはっきりさせなかったことで著作権法の違反になることや、実刑や罰金があることに気づかせる。
著作権があるものって何？ (二時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が収集した資料のほかにも著作権が適用されるものがあるのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> * 自分たちが作ったまとめの新聞 * 自分で描いたイラスト * 自分の考え ・どうしても、利用したかったり、引用したかったりした時にはどうしたらよいかも話し合う。 ・創作したものすべてに著作権があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他人が一生懸命作ったもの、収集したものであることに気づかせる。 ○友達の情報をもろうときには、出所を明示することから許可を求める御願いをしてみることもできることに気づかせる。 どんなものにも著作権があることがわかる。(観察・振り返りノート)
(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を聴き、音楽からできるコピーについて話し合う。 ・「できること」と「してはいけないこと」があることに気づき、分類する。 ・歌手の気持ちになって、自分の曲にされたいやなことをグループで話し合い、理由も考える。 ・考えを発表し合い、理由を考える。 ・著作権を侵害している項目を知り、歌手のメッセージを読む。 ・メッセージから自分の生活の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌手がされていやなことは何かを考えさせ、著作権の意義に触れさせる。 ○理由を考えさせることから、相手の気持ちに配慮することの大切さに気づかせたい。 相手の立場に立って、著作権ができていくことがわかる。(観察・振り返りノート) 自分の生活を振り返り、著作権についての考えを持つことができる。(振り返りノート)

4 本時の展開

準備

- ・ プロジェクター、PC、CD、MD、カセット、コブクロ「桜」CD、パンフレット
- 展開

配時	学習活動・児童の意識の流れ	支援○・評価
	<p>1 コブクロの「桜」を聞く。 2 CD「桜」とCD、カセット、MDから何ができるか予想する。 3 カセットやMD・CDは、誰にどこまでコピーしてあげてもいいか考える。</p> <p>録音する</p>  <p>友だちなら何人でも録音しても、いいんじゃないのかな？</p> <p>家族はいいんじゃないの？</p> <p>近所の先輩もほしがりそうだなあ。</p> <p>自分も録音したいし、友達にもあげたいな。</p> <p>でもほんとにいいのかなあ？</p> <p>4 グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料とかも勝手に引用してはだめだったから、音楽もだめじゃないかな。 ・ 資料みたいに許可をもらえばいいんじゃないのかな ・ 使う必要のあるときだけならいいんじゃないの ・ CDって買うのにお金がかかっているし、ただで録音してはコブクロは儲からなくなるし、かわいそうかも ・ 自分で聞くだけならいいんじゃないのかなあ。 	<p>MD、カセット、CDに録音できることに気づかせ、興味を持たせる。PCで歌詞を紹介し、コブクロの写真を見せる。</p> <p>コピーをしてあげたいのは誰か、何人にコピーしてあげられるのかを考えさせる。</p> <p>○録音することは、自分達の日常生活にもよくある事だと気づかせる。</p> <p>○著作権の既習から、どこまでコピーしてもいいか考え、曖昧なところについては考えを出し合う。 曲を作ったコブクロの気持ちになって考えてみることを助言す</p>

	<p>5 コブクロの公式オフィシャルサイトから、2人の著作権に関するコメントを読む。</p> <p>6 コブクロのコメントを聞いて、自分の考えが変わったか変わらないかを聞き合う。</p> <p>7 パンフレットをもらう。</p> <p>8 学習の振り返りを書く。</p>	<p>る。</p> <p>○コブクロの曲に対する思い出をWeb上の日記から読むことで、曲をCDやカセットにして大事に売ってきた気持ちに気づかせる。</p> <p>ポスターを提示し、読むことで、コブクロが著作権に対し、どう考えているかを知る。</p> <p>自分の生活を振り返り、著作権についての考えを持つことができる。(振り返りノート)</p>
--	---	--

* 授業では、パンフレットを配るところで終わってしまいましたが、みんな飛びつくように読んでいて、振り返りを書きました。